

## はじめに

昨今、アジア諸国の急速な経済発展により消費が伸び、これまで放置されてきた廃棄物の問題が喫緊の課題として認識されるようになってきました。わが国は世界に3Rイニシアティブを宣言して以来、途上国の3R推進に尽力しており、今や廃棄物分野はわが国が環境先進国として国際社会に大きく貢献することのできる分野と言えます。

これまでに、岡山大学環境学研究科では「21世紀COEプログラム—循環型社会への戦略的廃棄物マネジメント」、「魅力ある大学院教育イニシアチブ『いのち』をまもる環境学教育」、特別教育研究経費「地域発信型による国際環境専門家の育成プログラム—ユネスコチェアを活用したESDの国際拠点形成プログラム—」、「組織的な大学院教育改革推進プログラム(大学院GP)」を進めてきており、その中で廃棄物研究の成果を廃棄物マネジメント研究センターが蓄積して参りました。

そのような中、平成22年度文部科学省概算要求「学官パートナーシップによるアジア・太平洋諸国を対象とした廃棄物マネジメントの実践的研究教育」が採択され、廃棄物マネジメント研究センターにおいて、3年間のプロジェクトを実施することになりました。本プロジェクトの推進を通じ、アジア・太平洋地域の環境研究及び環境政策におけるわが国のリーダーシップを強化し、また、学生を早くから海外に派遣することで、国際経験豊かな人材を育成すること、さらに、廃棄物マネジメントを通じて途上国の自治体と日本の自治体の連携が強化され、自治体レベルでの国際協力の実現が期待できると考えています。

本報告書では、『学官パートナーシップ』プロジェクトの概要を説明するとともに、初年度に実施しました各種イベントの報告、及び、各チームによる研究成果を纏めました。

最後になりましたが、本プロジェクトに対してご協力いただきました関係機関及び関係者各位に深甚なる謝意を表すとともに、今後ともより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

廃棄物マネジメント研究センターセンター長 阿部 宏史 教授



廃棄物マネジメント研究センター副センター長 藤原 健史 教授

